

19. 令和2年度大分県高等学校新人レスリング競技大会実施要項

- 1 期 日 令和2年 11月 8日 (日) 8:00～30 会場消毒・検温
8:30～メディカル・計 量
9:00～ 監督会議
10:00～ 競技注意
10:30～ 試合開始
- 2 会 場 日本文理大学附属高等学校体育館
- 3 競技種目 学校・男女個人対抗戦ともにフリースタイル
- 4 競技規則 世界レスリング連盟ルールとし、一部特別ルールを採用する。
- 5 競技方法 (1) 階級
ア. 学校対抗戦 7階級
51kg級・55kg級・60kg級・65kg級・71kg級・80kg級・125kg級の7階級
ただし、51kg級の下限は45kg、125kg級の下限80kgとする。
60kg級に出場する選手は、51kgを超えていれば出場できる。
イ. 男子個人対抗戦 8階級
51kg級・55kg級・60kg級・65kg級・71kg級・80kg級・92kg級・125kg級の8階級
ただし、51kg級の下限は45kg、125kg級の下限92kgとする。
ウ. 女子個人対抗戦
47kg級・50kg級・53kg級・57kg級・62kg級・68kg級・74kg級の7階級
ただし、47kg級の下限体重は43kg、74kg級の下限68kgとする。
(2) 試合方法
学校対抗戦・個人対抗戦共にトーナメント戦方式とする。
なお、試合時間は1ピリオド「3分間」の2ピリオド制で行う。
- 6 参加資格 「2020年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参加制限 (1) 学校対抗戦 1チーム監督1名、選手各階級2名、合計15名とする。
4階級以上のエントリーで出場可能とする。
(2) 個人対抗戦各階級4名以内とする。
- 8 参加申込 (1) 期限 令和2年 10月 16日 (金) 必着
(2) 方法 申込用紙はホームページから入手し、下記により期限内に行う。
ア. 様式により作成し、1部を印刷・捺印して、下記に郵送する。
イ. 承認を得た申込電子データはメールで送信する。(ファイル名：競技名/校名/監督名)
ウ. 大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を申込書に同封し、提出すること。
(3) 宛先 〒 879-2421 津久見市大字津久見3485-1 津久見高等学校内
専門委員長 太田 充洋 あて
メールアドレス oota-mitsuhiro@oen.ec (データは10月16日正午必着)
※大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を申込書に同封し、提出すること。
- 9 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー)1人、加盟校6000円・非加盟校10000円。大会当日の受付で納入する。
- 10 出場権の獲得 (1) 学校対抗戦の1・2位に全九州高等学校レスリング新人選手権大会の出場権を与える。
(2) 男女共に個人対抗戦の5位までに全九州高等学校レスリング新人選手権大会の出場権を与える
ただし、個人対抗戦の出場権は、各校各階級2名までとする。
- 11 諸 会 議 (1) 第2回専門委員 令和2年 10月 23日 (金) 13時～ 津久見高等学校
(2) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準に基づいて行う。
(3) 監督会議 11月 8日 (日) 9時00分～ 日本文理大学附属高等学校
- 12 連絡事項 (1) 計量は上記日程で行い、自己体重の1階級上まで出場できるものとする。
(2) 出場者は申込を完了し、参加同意書の提出、なおかつ計量に合格した者に限る。
(3) 変更については、下記のとおりとする。
ア. 学校対抗戦においては、申込を完了のうえ計量に合格した者であれば、同一階級内で各試合ごとの交代は、自由に行うことができる。
イ. 学校・個人対抗戦とも、申込後の選手及び階級の変更は認めない。
なお各選手は、1階級のみ申込とする。
(4) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準に基づいて行う。
(5) メディカル・計量時に来場者体調記録表を提出すること。
(6) 選手は選手手帳または学生証(写真添付)、日本レスリング協会会員証を持参し、計量時に提示すること。
(7) 顧問は、大会日2週間前から行動履歴書と来場者体調記録表(生徒・顧問)を作成し、大会終了後1か月程度は保管しておくこと。
- 13 感染症等の対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

レスリング競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 レスリング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【 大会本部 】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行う。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスク装着を義務とする。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは禁止とする。
- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つ配置とする。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・観客は、保護者のみとし体育館後方に座席を設営する。
- ・健康状態・氏名と連絡先を受付で記入させる。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

【 選手・役員・保護者等 】

《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているのに注意すること。
- ・観客は、保護者のみとし体育館後方で観戦すること。また、健康状態・氏名と連絡先を受付で記入すること。

3 (公財) 日本レスリング協会 COVID-19 対策 ガイドラインより

- ・直近2週間前に37.0℃以上の発熱や感冒様症状（発熱、せき、頭痛、倦怠感、味覚や嗅覚異常）がないこと。
- ・うがい、石鹸を用いた手洗いと洗顔、手指消毒をすること。
- ・体調の管理と行動の記録、体温計測、体調、訪問場所を記録する。直近2週間の体調・体温・行動記録はいつでも提示できるように準備すること。
- ・シューズは上履きと外履きの区別を厳重に行うこと。また、マットに上がる際にはレスリングシューズのソール面を消毒すること。
- ・マットの消毒は、ウォーミングアップや試合開始前と終了後など1時間に1度行うこと。
- ・マット1面あたり最大参加人数は選手10名、コーチ2名までとすること。人数制限により、十分なウォーミングアップが出来ない場合は、時間増加や競技開始時間を変更するなど対応する。

日本文理大学附属高校体育館 見取り図

